

# 平成 1 9 年度

## 農作物病害虫発生予察 8 月月報

平成 1 9 年(2007年) 9 月 3 日  
山口県病害虫防除所

### I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
8.1	27.1	27.2	△ 0.1	32.0	32.0	0.0	23.3	23.2	0.1
8.2	28.2	27.1	1.1	31.9	31.9	0.0	26.4	23.2	3.2
8.3	28.8	26.9	1.9	32.4	31.7	0.7	26.5	23.2	3.3
8.4	29.4	26.7	2.7	35.2	31.4	3.8	24.6	23.2	1.4
8.5	28.1	26.4	1.7	33.8	30.9	2.9	24.3	22.7	1.6
8.6	27.3	25.8	1.5	31.7	30.6	1.1	24.1	22.0	2.1
平均・計	28.1	26.7	1.4	32.8	31.4	1.4	24.9	22.9	2.0
月・半旬	平均湿度(%)			降水量(mm)			日照時間(h)		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
	8.1	72	76	△ 4	126.5	25.8	100.7	22.3	34.9
8.2	69	77	△ 8	3.0	25.9	△ 22.9	27.2	34.2	△ 7.0
8.3	65	77	△ 12	0.0	28.6	△ 28.6	38.0	32.4	5.6
8.4	65	78	△ 13	0.0	33.3	△ 33.3	50.1	30.7	19.4
8.5	71	78	△ 7	28.5	33.7	△ 5.2	36.8	29.6	7.2
8.6	75	77	△ 2	43.5	35.2	8.3	21.0	36.0	△ 15.0
平均・計	70	77	△ 7	201.5	182.5	19.0	195.4	197.8	△ 2.4

### II 作物の生育状況

- (1) イネ : 出穂期は、極早生種(コシヒカリ、ひとめぼれ、晴るる)で5日程度遅れ、バラツキが大きく、中生種(ヒノヒカリ、日本晴)で2～3日遅い見込みである。
- (2) ダイズ : 生育は順調であった(品種:サチユタカ)。
- (3) カンキツ : 果実の肥大は平年並み～やや遅れた。  
糖度は平年に比べやや高く、酸度は平年並みであった。

### Ⅲ 病害虫の発生概況

#### 1 普通作物

2007年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ 葉いもち	中旬の巡回調査では、発生ほ場率15.1% (平年32.3%)、発病株率3.9% (平年11.1%)、発病度1.0 (平年2.8) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	中 278 少 <u>3,342</u> 計 3,620
穂いもち	初発生は8月27日 (平年8月11日) に各地で認められ、平年に比べ遅かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率11.4% (平年21.8%)、発病株率1.6% (平年4.7%)、発病穂率0.1% (平年0.4%) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 2,506
紋枯病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率23.3% (平年33.3%)、発病株率2.9% (平年5.4%)、発病度0.9 (平年1.6) で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率25.6% (平年40.0%)、発病株率3.5% (平年6.8%)、発病度1.6 (平年2.3) で平年に比べやや少なかった。 発病最上葉鞘位の平均は2.3 (H18:2.1、H17:2.4、H16:2.0、H15:2.3、H14年:2.1、H13:2.3、H12:2.0) であった。	県内全域	中 278 少 <u>5,848</u> 計 6,126
ごま葉枯病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率2.3% (平年5.7%)、発病株率0.1% (平年3.1%)、発病度0.02 (平年0.9) で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.7% (平年8.2%)、発病株率0.9% (平年4.4%)、発病度0.2 (平年1.2) でやや少なかった。	県内全域	少 1,114
縞葉枯病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率3.5% (平年0.1%)、発病株率0.2% (平年0.0%) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率1.2% (平年0.2%)、発病株率0.2% (平年0.02)) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 835
内穎褐変病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率62.0% (平年60.7%)、発病穂率4.6% (平年2.7%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 13,622

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イネ 黄化萎縮病 もみ枯細菌病 白葉枯病 萎縮病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—
セジロウンカ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率77.9% (平年56.2%)、10株当たり虫数17.8頭 (平年10.5頭) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率48.8% (平年29.0%)、10株当たり虫数1.9頭 (平年1.5頭) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 1,114 少 17,543 計 18,657
トビイロウンカ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率51.2% (平年16.3%)、10株当たり虫数6.5頭 (平年8.4頭)、10株当たり短翅成虫数2.0頭 (平年0.1頭) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率64.0% (平年17.7%)、10株当たり虫数47.0頭 (平年3.0頭)、10株当たり短翅成虫数1.5頭 (平年0.2頭) で平年に比べ多かった。 8月27日に下関市豊浦町で坪枯れの初発生を確認した。中生品種等を作付けしたほ場では、防除の目安(5頭/株)を超えるほ場は17.8%であった。	県内全域	甚 278 多 1,392 中 1,671 少 11,974 計 15,315
コブノメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率97.7% (平年59.4%)、被害株率65.7% (平年16.4%)、被害葉率8.4% (平年1.1%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率88.4% (平年58.5%)、被害株率45.8% (平年19.6%)、被害葉率4.9% (平年1.6%) で平年に比べ多かった。 山口市大内の県予察ほ場の払い出し調査では、8月2半旬に成虫最盛期を確認した。	県内全域	甚 835 多 2,506 中 7,240 少 12,809 計 23,390

2007年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ 斑点米カメムシ 類	中旬の巡回調査(出穂ほ場)では、発生ほ場率11.8%(平成37.6%)、20回すくい取り虫数0.2頭(平成0.8頭)で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査(出穂ほ場)では、発生ほ場率34.5%(平成29.6%)、20回すくい取り虫数0.9頭(平成0.5頭)で平年に比べやや多かった。特にアカズカスカメの発生が多く、クモリカメシの発生はやや多かった。 予察灯(県内4か所、7月6半旬～8月5半旬合計)の誘殺数はアカズカスカメ、クモリカメシともに平年に比べやや多かった。	県内全域	多 268 中 1,652 少 4,573 計 6,493
ツマグロヨコバイ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率31.4%(平成30.1%)、10株当たり虫数2.4頭(平成1.5頭)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率27.9%(平成23.7%)、10株当たり虫数0.5頭(平成1.2頭)で平成並みであった。	県内全域	中 278 少 7,240 計 7,518
イモジセリ (イネトムシ)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率15.1%(平成15.9%)、10株当たりつと数0.2個(平成0.3個)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率3.5%(平成4.9%)、10株当たりつと数0.13個(平成0.08個)で平成並みであった。	県内全域	中 278 少 3,342 計 3,620
ニカメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成0.5%)、被害株率0%(平成0.04%)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成0.7%)、被害株率0%(平成0.04%)で平成並みであった。 予察灯による第1世代の成虫誘殺数が少なかったため、最盛期は不明確であった。	—	—
ダイズ べと病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成3.9%)、発病株率0%(平成1.7%)で平年に比べやや少なかった。	—	—
葉焼病・斑点細菌病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率23.8%(平成58.9%)、発病株率12.6%(平成51.8%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 179
マメヒメサヤムシガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率19.0%(平成7.4%)、25株当たり被害か所数0.5(平成0.3)で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 36 少 107 計 143

2007年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
ダイズ 吸実性カミシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率55.6% (平成38.8%)、1㎡当たり虫数0.14頭(平成0.18頭)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率52.4% (平成38.9%)、1㎡当たり虫数0.2頭(平成0.2頭)で平成並みであった。 優占種はホリカミシ、アキカミシ、イモンジカミシであった。	県内全域	少 214
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率11.1% (平成14.7%)、1a当たりの白変葉か所数0.1か所(平成0.2か所)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率23.8% (平成36.4%)、1a当たり葉の白変葉か所数0.2か所(平成0.9か所)、25株当たり虫数は0.3頭(平成5.7頭)で平成に比べやや少なかった。 県内4か所のフェロモントラップにおける7月5半旬～8月4半旬の誘殺数は平成並みであった。	県内全域	少 179
ウコンノメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率27.8% (平成29.4%)、被害株率1.8% (平成2.6%)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率57.1% (平成39.0%)、被害株率8.2% (平成4.1%)で平成に比べやや多かった。	県内全域	中 72 少 357 計 429

注1) ダイズは営農組合等の管理ほ場を主体に調査した。

注2) ダイズの面積は8月17日現在の市町調べ面積を基に算出した。

## 2 果樹

2007年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
カンキツ (調査ほ場数:22) 黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率100% (平成99.1%)、発病果率58.0% (平成63.7%)、発病度12.9(平成13.0)で平成並みであった。	県内全域	多 402 中 483 少 885 計 1,770
かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率36.4% (平成21.8%)、発病果率2.1% (平成4.2%)、発病度0.5(平成1.4)で平成並みであった。	県内全域	中 80 少 563 計 643
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率40.9% (平成24.5%)、寄生葉率2.2% (平成2.7%)で平成並みであった。	県内全域	少 777

2007年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
カンキツ チャノキイロアザミヤ	下旬の巡回調査では、被害発生ほ場率27.3%(平成45.9%)、被害果率0.5%(平成2.2%)、被害度0.2(平成0.5)で少なかった。	県内全域	少 518
ナマルカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率22.7%(平成24.7%)、寄生果率0.9%(平成1.5%)でやや少なかった。	県内全域	中 86 少 346 計 432
ミカンサビダニ	下旬の巡回調査では、被害発生ほ場率0%(平成6.0%)、被害果率0%(平成0.2%)で平成に比べやや少なかった。	県内全域	—
果樹全般 カメムシ類 (チャハネオカメムシ、ツヤカメムシ、クサギカメムシ)	8月1半旬～8月5半旬の予察灯(5か所計)における誘殺数は254頭(平成529頭)で平成に比べやや少なかった。優占種はツヤアオカメムシであった。 8月のフェロモントラップ(4か所計)における誘殺数はすべての地点で前年に比べ少なかった。	県内全域	—

(参考)8月のチャハネオカメムシフェロモントラップ誘殺数

	2007年	2006年	2005年	2004年	2003年	2002年
阿東	6	276	0	5009	0	1293
秋芳	22	3308	0	9535	0	7723
山口落試※1	68	186	2	212	1	1522
山口農試※2	44	322	—	1746	1	881

※1農林総合技術センター落葉果樹試験地  
※2農林総合技術センター本場

## 3 野菜

2007年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
アブラナ科野菜 コナガ	山口市大内のフェロモントラップにおける8月の誘殺数は、0頭(平成8頭)で平成に比べ少なかった。	—	—
野菜全般 アブラムシ類	山口市大内の黄色水盤における8月の誘殺数は、130頭(平成222頭)で平成に比べやや少なかった。	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)																				
野菜全般 ハスモンヨトウ	<p>山口市大内のフェロモントラップにおける8月の誘殺数は4,032頭(平成3,042頭)で平成並みであった。</p> <p>【参考】 フェロモントラップ 7月5半旬～8月4半旬誘殺数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年 (頭)</th> <th>平成 (頭)</th> <th>概 評</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鞆市調東町</td> <td>182</td> <td>353</td> <td>やや少</td> </tr> <tr> <td>周南市</td> <td>1,327</td> <td>1,738</td> <td>平成並</td> </tr> <tr> <td>阿東町</td> <td>762</td> <td>940</td> <td>平成並</td> </tr> <tr> <td>下関市</td> <td>1,324</td> <td>720</td> <td>前年より多</td> </tr> </tbody> </table> <p>※阿東町の平成値は過去9年間の平均、下関市の平成値は前年値。</p>	地点	本年 (頭)	平成 (頭)	概 評	鞆市調東町	182	353	やや少	周南市	1,327	1,738	平成並	阿東町	762	940	平成並	下関市	1,324	720	前年より多	—	—
地点	本年 (頭)	平成 (頭)	概 評																				
鞆市調東町	182	353	やや少																				
周南市	1,327	1,738	平成並																				
阿東町	762	940	平成並																				
下関市	1,324	720	前年より多																				
オオタバコガ	山口市大内のフェロモントラップにおける8月の誘殺数は1頭(平成9頭)で平成に比べやや少なかった。	—	—																				
シロイチモジヨトウ	山口市大内のフェロモントラップにおける8月の誘殺数は47頭(平成51頭)で平成並みであった。	—	—																				
イチゴ (調査ほ場数:25) 炭疽病	8月13日～30日に行った防除員による調査の結果、発生ほ場率73.3%(前年55.0%)、発病株率9.3%(前年14.0%)であった。品種別の発病株率は、「さちのか」8.2%、「とよのか」10.4%、「とちおとめ」7.8%であった。	県内全域	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>甚</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>多</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>少</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>84</td> </tr> </tbody> </table>	甚	8	多	12	中	19	少	45	計	84										
甚	8																						
多	12																						
中	19																						
少	45																						
計	84																						

お問い合わせは山口県病害虫防除所へどうぞ

電 話 083-927-4006  
F A X 083-927-4071  
テレホンサービス 083-927-4649

作物 担当者  
普通作：野崎(病害) 中川浩二(虫害)  
果 樹：藤村(病害) 殿河内(虫害)  
野 菜：岡田(病害) 畑中(虫害)